

こどものむらだより

No.2

2021.1.26

冬 — そして春 — こどものむら

'76. 2. 9

最近、子どもがいそいそとしました、目がいきいきと輝いてきたように思います、と幾人かのお母さまから伺いました。思うに、それは子どもの誰もが、はっきりした生活目標を持つようになったからではないかと考えるのです。生活目標というのは、「こどものむら」のことです。

わたくしむらさんとして「こどものむら」をつくろう — — これは、協力です。

そのむらをつくるために、それぞれの仕事を分担しよう、引き受けよう — — これは、分業です。

このようにして、今この幼稚園で、子どもたちの社会活動がはじまっているところです。

子どもなりの共同体意識が芽生え、それが子どもなりに育ちつつある、そんな毎日です。

— 口小さな窓から 親と子と教師でつくる幼稚園 P.87より —

子どもたちが一から創る、子どもたちのための、こどものむら。

それぞれの仲間に分かれての生活が始まっています。どんな様子か、のぞいてみましょう…*

◆◆ おんがくのひうば ◆◆

集まったのは、～13名、～16名、全員で29名の仲間たち。

クラスごとにステージでお名前を伝え合った後、早速『うたうたいたい！』と声があがりました。

～さんからは、
♪だれかがほしをみていたはどう？

♪ききゅうにのってどこまでも
うたいたい！

～さんも一緒に歌える歌がいいね…と言葉していると、

～さんから再び、
♪じゃあ、♪おおぶれねりは？

との声が。

♪おおぶれねりも ～さんが楽しんでいた歌ですが、
うたいたいー！

歌ってみると、不思議なほどに～さんにも言葉が入っていて、息を吸う音まで描いた歌声が
お部屋じゅうに広がりました。さすが、『おんがく』がしたくて 集まってきた仲間たち。

「このしかったあ…!! 気持ちのよい一体感を、みんなで味わった瞬間でした。

『もっと たくさん うたいたい！』

あたらしいうたもううたいたい

うたつくるとか…？

『がっとうしたい！』

おおだいにとか…

ぎたーとかさ…

がっしつくりたい！

けーなのひびきでつかっただけを
がっとうでもしたら？

おどりとか？

(だきもしたい)

“おんがく”からつながる楽しいことか
〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

そんな仲間たちと、新しく「め牛が逃げた」という歌に出会いました。

① - 2

1. め牛が逃げた どこへ逃げた
あざみの口咲いてる 野原へさ
のろまのハンスが 追いかけた
ふうふうふう
息をきらして 追いかけた

2. のろまのハンス 背高の、ほ。
だれでも知ってる 大男
鍛冶屋のむく犬 あとかう
わんわんわん
のろまのハンスを追いかけた

3. 鍛冶屋のむく犬 とんがりしきは。
だれでも知ってる ちび犬だ
やお屋のかちようが あとかう
があがあがあ
鍛冶屋のむく犬 追いかけた

集まるたびに歌っていると、あっという間に言葉が入っていきました。

するとある日、朝からピアノを囲んで歌っていたーの仲間たちの中で、

ねえ、このあとどうなったんだろう？

めうし どうなったの？

じゃあ、うたつくつたらいいんじゃない？ という話になり…

つぎはうさぎにしようよ！

やおやのがちようだから…

はなやのうさぎ？

いいね!!

だれでもしてよ♪♪♪♪♪～だから…

しろうさぎ～は？

そうしよう!!

最後はどうなるの？

めうしをつかまえて…

みんなはおうちへかえるの！

じゃあ…

こうして、「め牛が逃げた」の歌に4番・5番ができる

できあがると、ねえ、これでげきしたらいいんじゃない？

わたしもそうおもってた！

はじめてうたったときから
げきにしたらいいなーって
おもってたよ！

と大盛りあがり!!

次の集まりで、新しく作った5番までをお聴かせして、

「めうしにげたで げきするのはどう？」とお伝えすると、

いいよ！

それならおれ、ちびいぬかがいい！

仲間たちからも嬉しい返事がありました。

皆で一つの目標が見つかり、早速劇のおんぎょうづくりが始まったところです…！

一方で、日々 楽器づくりに夢中になっている方たちも…！

じんかぐのひろばのなかま